

後期高齢者の服薬情報通知事業が始まりました

高齢期になると、複数の病院にかかっている人が多く、複数の薬局で重複して同じ薬効の薬を処方されたりした場合に、ふらつきや転倒などの薬物有害事象が起こる可能性があります。

尾道市では服薬相談や指導に繋げるため、後期高齢者で対象となる人へ、8月下旬に個別通知を送付しています。通知を受け取った人は、11月末までにかかりつけの薬局に、通知書とお薬手帳、保険証を持ってご相談ください。

75歳以上の後期高齢者医療制度被保険者で、お薬を多く処方されている人や重複して同じ薬効のお薬を処方されている人など

受診の際は、お薬手帳を忘れずに

お薬手帳を持たずに受診すると、同じような作用のある薬が重複して処方されていたり、飲み合わせの問題から、食欲不振やふらつきやすい、鬱っぽくなるなど、不調をきたす原因になっていることがあると言われています。医療機関での飲み合わせの確認のために、受診の際はお薬手帳を必ず持参しましょう。

健康推進課
(☎0848-24-1962)

シルバーリハビリ体操2級指導士(24期生)養成講習会受講者募集

10月4日(火)・7日(金)・11日(火)・13日(木)・18日(火)・21日(金)
10:00~16:00(6日間)

場 市役所本庁

次すべての項目に該当する人

- ①尾道市民で概ね60歳以上の人
- ②常勤の職についていない人
- ③シルバーリハビリ体操指導士として地域でボランティア活動ができる人

解剖運動学、シルバーリハビリ体操 など

定 20人

講師 医師、理学療法士、シルバーリハビリ体操1級指導士 ほか

筆記用具、昼食

高齢者福祉課、各支所などにある申込書を持参か郵送、FAXもしくはQRコードから申請

9月22日(木)

久保一丁目15-1 高齢者福祉課
(☎0848-38-9137・☎0848-37-7260)

活躍中の指導士からのメッセージ



シルバーリハビリ体操1級指導士の皆さん

私たちが講師をします。私たちと一緒にシルバーリハビリ体操について学んで、自分も地域も元気にしていきたいと思いますか?お待ちしております!



電子申請

まめまめ通信110

毎年10月は「がん検診受診率50%達成に向けた集中キャンペーン月間」です!



今や日本人の2人に1人ががんに罹患し、3人に1人ががんによって亡くなっています。がんによって亡くなる人を減らすために、コロナ禍でもがん検診を受け、がんを早期に発見し、早期に治療することが大切です。この機会にぜひ「がん検診」を受診しましょう。



▼がん検診の申し込み方法▼

集団健診

Web
申込

スマートフォン・パソコンから「尾道市けんしん予約ナビ」へアクセス
スマートフォンの人は右記QRコードからアクセスできます
尾道市けんしん予約ナビ▶



受付期間内24時間申し込みが可能。
希望の会場・空き状況をその場で確認できる。
希望すれば、健診日が近くなるとお知らせメールが届く。
個人情報をアカウント登録しておくこと
次年度以降の申し込みが簡単。



電話
申込

集団健診専用コールセンターへ電話
(☎0120-489-203)(無料)
受付時間 9:00~17:00(土・日・祝日を除く)

オペレーターと会話しながら、空き状況を確認して、その場で予約。
本人以外、代理申込みもできる。



医療機関健診

電話等で希望する医療機関へ「尾道市の検診を受けたい」と言って予約してください。

詳細は広報4月号折込「健康診査のお知らせ」または、市HPをご覧ください。市HP▶



健康推進課 (☎0848-24-1962)

9月10日~16日は自殺予防週間です

長引くコロナ禍の影響は、失業や休業等による就労環境の変化や、生活の不安定化等、生活のあらゆる面に拡大しており、こころの不調を訴える人が増えています。

あなたは悩みを抱え込んでいませんか?あなたの周りにいつもと様子が違う人はいませんか?

こころのつらさは人それぞれです

悩みを誰かに打ち明けて、助けを求めることは恥ずかしいことではありません。気持ちが軽くなるだけでなく、自分では知らなかった問題点や、解決法が見えてくることもあります。「もうだめだ」と思う前に、身近な人や公的な相談窓口につらいと思うことを話してみませんか?

相談先

●広島県こころの健康相談ダイヤル
(☎082-892-9090/月・水・金 9:00~12:00、13:00~16:30)

●よりそいホットライン
(☎0120-279-338)

●健康推進課
(☎0848-24-1962/8:30~17:15 ※土・日・祝日を除く。)

●LINEやチャットでの相談案内
(まろうよ こころ 厚生労働省)



まろうよこころHP▶

健康推進課 (☎0848-24-1962)



※ゲートキーパーとは、悩んでいる人に気づき、声をかけて、話を聞いて、必要な支援に繋げ、見守る人のことです。

こんにちは 市民病院で

地域医療連携室のご紹介

地域医療連携室では、地域との連携の窓口として、地域の医療機関や介護施設、訪問看護ステーションなどと連携を図り患者さんへの医療・介護のサービスが切れ目なく提供できるよう支援を行っています。前方支援では、地域の診療所や医療機関と連携し、診察の受け入れや予約を行ったり、他院からの転院調整を行っています。また後方支援では、医療福祉の相談業務を行い、退院後の生活を見据えて、安心して生活が送れるよう、医療面だけでなく介護福祉などのさまざまなサポートと一緒に考えて調整を行っています。

病気の悪化や進行、または加齢に伴い、今までできていたことができなくなってしまうことがあります。そういった場合に、地域連携室では、患者さんご家族と退院後の生活を一緒に考え、これから先どこで過ごしたいか、どんな生活を送りたいのかを多職種で話し合いながら、本人の意欲や生きがいにつながるようなサポートをしています。

これまで地域医療連携室では、患者さんを支える地域の医療者の皆さん、介護のスタッフの方々と「顔の見える関係」を大事にしてきましたが、コロナ禍でこの関係が作りづ

らなくなってしまっています。地域の医療関係の方々の対面での面談をお断りし、ご迷惑やご不便をおかけしていることを申し訳なく思います。また、ご本人と会えないため、ご家族は非常に不安を抱えておられると思います。そのような中での調整は、時には余計に不安を募らせることもあり言葉で伝える難しさも感じました。

しかし、会えないけれど毎日病院に足を運ばれているご家族や、動画を送ってくださるお孫さんなど、ほっこりと心温まるエピソードもたくさん聴き、目にしました。また当院では、オンライン面会も活用しています。変わらないのは人と人とのつながりや、人の温かさに触れたときの心地よさだと思います。これからも連携のつながりを大切に、患者さんご家族に寄り添い、一緒に考える支援を心がけていきたいと思っています。どうぞ気になることがあればいつでも地域医療連携室に気軽に声を掛けてください。

尾道市立市民病院 (☎0848-47-1155(代))



■料金や申込方法の記載のないものは無料または申込不要です。
■日時・期間 場場所 対象者 内容 定員 料金 持ち物 電子メール 印刷 申し込み方法 申込先 問い合わせ先 電話 フォックス 電子メール ホームページ

くらしの窓

健康・福祉

子育て

スポーツ

芸術・文化

情報アラカルト

相談